

令和6年度 第7回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

令和7年2月28日（金）午後2時00分～3時45分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階第1会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、西尾とよ子、辛川宗雄、山下和彦、八百谷和子、平井育子、入江真知子、
福山裕正、西村勝
以上9名（敬称略）

報告者 用瀬町地域おこし協力隊 堺隊員

事務局 太田用瀬町総合支所長、岡本副支所長、浜部産業建設課長 遠藤地域振興課課長補佐

傍聴者 2名

【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
支所長あいさつ
- 3 議題・報告事項等
 - (1) もちがせ地域未来プラン【完成版】について
 - (2) 地域おこし協力隊活動報告（堺隊員）
 - (3) 地域振興会議の振り返り
 - (4) その他
- 4 閉会

3 議題・報告事項等

- (1) もちがせ地域未来プラン【完成版】について
内容について説明

(委員)

フリーWi-Fi環境の充実という提案をしてきたが、先日「鳥取県が県営Wi-Fiを観光地などで導入した。県単位での導入は全国3例目。」とのニュースを見た。県単位でさえ全国で3例目なので、インバウンドで来た外国の方に日本はWi-Fi環境の整備が遅れていると言われる原因がそこにあると痛感した。

(2) 地域おこし協力隊活動報告（堺隊員）

令和6年11月1日の着任から、4か月間の活動について報告

【ミッション】

- ・流しびなの製作技術の継承と持続可能な体制づくり
- ・空き家の掘り起こしと利活用

(委員)

ちょうど今年は大阪万博があるので、会場の鳥取ブースなどで、流しびなの製作を体験して、来年は流しに來てもらおうなどして、用瀬のPRにつなげたらどうか。待っているだけではなく、攻めの政策をとっていかないと。

(事務局)

とても良いご意見ありがとうございます。検討していきます。

(委員)

流しびなの記録映像を作って、流しびなの館で上映することはできないか。以前はかなり観光バス等が入ってきていたが、今はほぼ来ない状況にあると聞く。もう一度観光客を呼び込む取組を、未来プランの中にも入れている。

(堺隊員)

映像や写真など、そのように活用できたらよいと思っています。その他、何かメディアの印刷物などを成果として作れたらと考えています。

体験についても、今は流しびなの館に予約が入り、そこからときわ会へ依頼があつて出勤する形なので、希望される方にわかりやすいよう、例えば毎週何曜日の午前中には教えてくれる先生がいて体験ができますという形になればよいとは思っています。そこは館と協力しながらですが、結局は、作り手や仲間をどうやって集めていくかにも繋がってくると思うので、引き続き考えていきます。

(委員)

空き家を利活用するにあたっては、やはり買い物環境が整っていないとダメだと思うが、そこについてはどのような感想を持っているか。

(堺隊員)

買い物環境は、まさに今自分も4か月住んでみて、不便といえば不便。お店はあつて生活できるけど、ちょっと物足りなさを感じるのが率直なところです。結局、仕事で町外に通勤する現役世代など用瀬の中で生活が完結しない人は、そこまでの不便さを感じていない。実際のところは何かかなっているという気持ちが強い。

ただ、便利かと言われると便利じゃない。例えば智頭と用瀬どちらに移住するかと考えた時に、智頭の方が便利だよなとなってしまう現実はあると思います。

空き家をどう活用していくか、どういう人に來てもらおうか、今の現状でいうと、そういう不便さみたいなものも、ちょっと楽しんでもらえるような人がターゲットになると思っている。一定数は、めちゃくちゃ便利で何でも物があつてみたいな場所やそういう暮らしへの違和感の中で、田舎に移住するマインドは結構あると思います。

完全にリフォームされた綺麗な家とか、新築に住みたいとかではなく、自分で掃除をして、

D I Yをして入りたいなど、そういうニーズはあると思う。

まずは、そういうところにアプローチをして、新しい生活スタイルみたいところで、自分で生活を作っていく、家も自分で整えていくような活用・発信になってくると考えています。

(委員)

買い物環境のことで、関金のAコープ閉店後、地元住民で復活させたお店が1年で閉店したというニュースがあった。不便だと言いながら、地元が利用しないと用瀬でも同じようなことが起こりかねないと思う。

(委員)

スーパーを地元でやろうというのはとてもいいことではあるが、運用するには利益が出る方法をとっていかないと将来的には必ず立ちいかなくなる。その辺りも考えながら、今後も買い物環境の改善に取り組んでいきたい。

(委員)

買物は、たくさんの品物の中から自分が欲しいものを自分で選びたいという気持ちだが、どれだけ年をとってもあるが、膝が痛いときに広いスーパーに出たら店内の中が歩けないので、大きなものは要らないと思った。

(3) 地域振興会議の振り返り

各委員から振り返り

- ・いろいろ勉強になったが、やはり何といても買い物環境の充実が大事だと思った。
- ・本当にやって欲しいことの意見が出て、なかなか実現しないのは仕方ないことだと思うが、いろいろ勉強になった。やはり買い物環境の充実が大事だと思う。
- ・流しびなを盛り上げようと思ったら、やはり「ひいな橋」の塗り替えを実現して欲しい。
- ・この会議を通して、鳥取市はこう動いていく、こういうことが足りていない、こういう社会にしていけないといけないということがよくわかった。
- ・鳥取市に合併して、小回りがきかなくなったという印象があった。いろいろ意見を述べたが、言いつばなしではなく、その意見が市の改善につながっていったらよいと思う。
- ・私が用瀬に来た平成2年から今までに、人口が1700人ぐらい減っている。この30年くらいの間に、世の中がすごく変わった。例えばコロナで仕事対面からオンラインに切り換わり、今は9割オンラインでやっている。時代が変わると人々の動きも変わることを切実に感じている。この時代、スケールメリットと言われて、日本中から人を呼ばないと、自力では人口がどんどん減っていく状態。ただ現代は、1人でも情報発信できる時代なので、自分もインスタなどやっているが、人々が繋がっていくところに新たな可能性を見いだせると思っている。
- ・自分はインスタもやらないし、Wi-Fi どうしたらいいの？という状況で、IT時代には取り残されている。でも自分はここで生活していて、用瀬はいいところだと思える。
しかし、それが若い人に勧められるかどうかはまた違う問題で、人口減少が根源という感じがする。お店が来ないのも、何々ができないのも、みんな人口が減っているから。とても難

しい問題。それに対してこういう案がありますと出せなかったような気がして申し訳なかったと思う。

- ・町のいろいろな分野の後継者がいない、今私が属している組織がいつまで続けることができるか、市の方でも支援をしていただきたいとお願いしている部分もある。いろいろな勉強させていただいた。
- ・いろいろな情報を収集して、みんなが本音の話をして、形になるものをちゃんと作っていかないと、ただ話し合いだけでは前に進まない。これから買い物環境については、いろいろ動きがあると思うので、協力はどんどんしていきたい。
- ・この会議の中で、さまざまな課題について議論した。
 - 1 番目に総合支所の整備、耐震化。この庁舎の耐震化工事の必要と用瀬図書館の老朽化があり、複合化の流れとなった。当初は2階までを活用する案だったが、議論し、庁舎を100%活用する方法で耐震化を行うことになった。利便性は以前に比べて大分よくなったと思う。
 - 2 番目が生活交通の確保。用瀬町全体で、生活交通の確保についての話を、各地区から集まっていたいて、まず当初は社地区全体と別府で運行を開始し、その後トスクの閉店に伴い、河原のSマートまで延伸をした。
 - 3 番目として中橋の撤去。橋脚が多く水の流量を阻害してしまい草や木がひっかかって浸水となる危険があり撤去したいと市に提案したところ、すぐに対応いただき、また地域の方々の協力もあって、撤去することができた。
 - 4 点目が買い物環境の確保について。市、県、JAにもお願いをしているところ。なかなか前に進まない状況ではあるが、しっかりと取り組んでいきたい。

(4) その他

(事務局)

- ・ 雫鳥プロジェクトの紹介

5 閉 会